

2026年エビアンG7首脳昼食会と先端AIアクセス問題

エグゼクティブサマリー

2026年6月17日のG7エビアン・サミット最終日に行われたワーキング・ランチ「AIの安全で迅速かつ効率的な導入の確保」は、単なる産業ラウンドテーブルではなく、**米国の先端モデルアクセス遮断措置を受けた緊急の同盟調整会合**としての性格が強かった。公式にはG7首脳、EU首脳、パートナー国首脳、AI・テック企業幹部が参加し、日本外務省によれば会合は約110分続いた。議題はAI安全性、サイバー防衛、重要インフラ保護、モデルアクセス、国際協調、未成年者保護まで広がった一方、**独立した「AI昼食会コミュニケ」や詳細議事録は公表されていない**。代わりに、同日採択された成長宣言と未成年者向けデジタル空間声明、仏大統領記者会見、日本外務省概要が実質的な公式記録になっている。¹

実質的な争点は三つあった。第一に、**先端フロンティアAIを安全保障上のデュアルユース技術としてどこまで輸出管理するか**。第二に、**同盟国・「trusted partners」にどの条件で例外的アクセスを認めるか**。第三に、**先端モデルのリスク評価・レッドチーミング・情報共有を各国横断で制度化するか**である。成長宣言では、G7が財務当局・中央銀行・金融監督当局にAIの金融安定性、労働市場、生産性への影響の検討継続を求め、G7サイバー専門家グループにはフロンティアAIを踏まえた情報共有とベストプラクティス整理を要請した。これは、昼食会が単なる意見交換に終わらず、**官民タスク化の入口**になったことを示す。²

ただし、会合で具体的に拘束力ある新制度が成立したわけではない。報道ベースでは、フランス、EU、日本などが米国に対し先端モデルへの同盟国アクセス継続を強く求め、米側とは「trusted partners」構想が協議された。だが、**対象が「国」なのか「企業」なのか、アクセス対象がAPI実行権限か重みそのものか、審査主体が誰かは未公表**である。法的にも、米政府命令の原文と法的根拠は公表されておらず、専門家はEAR/ECRAの適用可能性を認めつつも、リモートAPI提供まで輸出規制で覆えるかは争点だと指摘している。³

したがって、この会合の重要性は、短期的な「声明」よりも、**中期的な制度形成の起点**として捉えるべきである。短期では同盟国例外や暫定アクセス枠組みの交渉、中期ではEUの技術主権立法、米国の事前評価・trusted partner運用、日欧のAI安全機関協力が進みやすい。長期では、グローバルAI市場は「全面自由アクセス」ではなく、**同盟圏限定アクセス、主権クラウド、共同試験、監査証跡、地域別コンプライアンス**を前提とする多層構造へ向かう公算が大きい。⁴

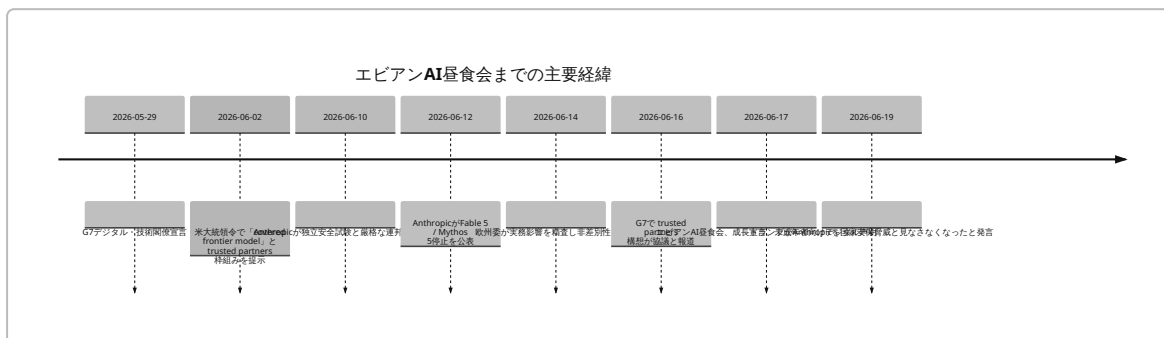
会合の事実関係

公式プログラム上、AI昼食会は6月17日12時30分開始のワーキング・ランチとして設定され、テーマは「AIの安全で迅速かつ効率的な導入の確保」だった。エリゼ宮の当日総括は、参加者を「G7諸国、パートナー国、企業幹部」とし、日本外務省は開始時刻を13時55分、所要約110分と記している。首脳級の参加者については、エリゼ宮のサミット参加者一覧がG7各国首脳、EU理事会議長、欧州委員長、ブラジル、韓国、インド、ケニア、エジプトの各首脳を掲載している。一方で、ウクライナ、カタール、UAE、国際機関トップはサミット全体の招待者ではあるが、**このAI昼食会へ同席したことを一次資料で確認できたわけではない**。⁵

区分	確認できる参加者	根拠	留意点
G7・EU	マクロン、トランプ、高市早苗、スターマー、メルツ、メローニ、カーニー、コスタ、フォンデアライエン ⁶	エリゼ宮参加者一覧 ⁶	AI昼食会は「G7諸国」と「パートナー国」参加と明記 ⁷

区分	確認できる参加者	根拠	留意点
パートナー国	ルラ、李在明、モディ、ルト、シシ ⁶	エリゼ宮参加者一覧 ⁶	エリゼ宮当日総括はパートナー国同席を確認 ⁷
企業	Anthropic、Black Forest Labs、Cohere、Domyn、Google DeepMind、Meta、Mistral、OpenAI、Sakana AI、Salvum AI、Synthesia、Salesforce ⁸	日本外務省公表 ⁸	公式一次資料は 企業名 を列挙するが、全員の個人名は示していない ⁸
個人名まで公的・準公的に裏付けがあるCEO等	Sam Altman、Dario Amodei、Demis Hassabis、Arthur Mensch、Aidan Gomez、Alexandr Wang、Marc Benioff、Victor Riparbelli、Robin Rombach、伊藤錬 ⁹	AP、報道、Sakana AI公式発信、Sakana企業情報 ¹⁰	Domyn と Salvum AI の代表者名は、6月20日時点で一次資料未確認。さらに一部二次報道では「Salvum」ではなく「Sarvam」と記され、表記に不確実性がある。 ¹¹

主要な前後関係は次の通りである。 ¹²



日付	出来事	含意
5月29日	G7デジタル・技術閣僚が、AI安全、オープンAI、合成コンテンツ検知、SME導入支援、評価枠組み比較可能性を優先課題として確認。 ¹³	首脳昼食会の実務的土台。
6月2日	米大統領令は、covered frontier model の分類、最大30日の事前政府アクセス、trusted partners 選定協力、AIサイバー・クリアリングハウスを規定。 ¹⁴	6月17日の例外アクセス議論の制度的原型。
6月12日	Anthropic は、米政府指令で外国籍者向けアクセス停止を命じられ、Fable 5 / Mythos 5 を全ユーザー向けに停止したと発表。 ¹⁵	AIアクセス問題がG7直前に顕在化。
6月14日	欧州委は、措置はパートナーに対し差別的であってはならないと表明。 ¹⁶	EUが「同盟内例外」を公然要求。
6月16日	Reuters は、G7で trusted partners 構想が協議され、対象は国または企業の可能性と報じた。 ¹⁷	同盟国アクセス例外が主要交渉論点に。
6月17日	昼食会開催。成長宣言はAIの金融・労働・サイバー面の継続検討を指示。未成年者向けデジタル声明も採択。 ¹⁸	公式成果は「検討指示」と「安全原則」。

日付	出来事	含意
6月19日	トランプはAxiosに、Anthropicをもはや国家安全保障上の脅威と見ていないと語った。 ¹⁹	交渉余地拡大のシグナル。

会合の空気をよく示すのが、マクロンとアルトマンの発言である。

« la réponse ne peut pas être de la non-coopération entre démocraties »

「答えは、民主主義国同士が非協力に陥ることであってはならない。」²⁰

“Do not cede your responsibilities to AI labs like mine.”

「私のようなAIラボに、あなた方の責任を委ねないでほしい。」²¹

主要論点と提案

公式議題は「安全・迅速・効率的なAI導入」だったが、実際の論点はより具体的だった。日本外務省概要では、高市首相がAIを成長戦略の中核と位置づけつつ、**フロンティアAIの重大リスク、金融・通信・電力など重要インフラのサイバーセキュリティ、Hiroshima AI Process、DFFT、子どもの安全**を提起した。フランスのデジタル閣僚宣言も、AIの設計上欠陥・脆弱性、悪用によるサイバー攻撃、化学・生物・放射線能力の開発、合成コンテンツ検知、オープンAIの定義明確化を列挙しており、昼食会はその首脳版だったとみるのが妥当である。²²

ただし、公表された公式成果は限定的である。G7公式の共同文書一覧には、AI昼食会に対応する独立文書は見当たらない。実質的には、成長宣言のAI条項が「財務大臣・中銀総裁・金融監督・国際金融機関・テック企業代表による継続協議」と「G7サイバー専門家グループによる情報共有・ベストプラクティス整理」を命じ、未成年者向け声明がAIチャットボットの子ども向け安全設定、年齢確認、合成コンテンツ透明化、研究・評価の強化を打ち出した。マクロンは会見で、民主主義国間の「協力プラットフォーム」を今後数カ月で構築し、**9月に大臣レベルで詰める**と述べた。²³

主体	基本姿勢	会合で確認・報道された提案/措置
フランス大統領府	協調的規制、民主主義国間標準、非分断。 ²⁰	共通標準、サイバー安全分野での共有、9月までの作業継続。 ²⁰
米政権	先端モデルを国家安全保障・サイバー防衛資産として扱う。 ²⁴	covered frontier model、事前評価、trusted partners、AI cyber clearinghouse、個別ライセンス要求。 ²⁴
欧州委員会	同盟国への非差別、最良モデルへの安全なアクセス、同時に技術主権強化。 ²⁵	trusted technology の相互利用、AI主権パッケージ、主権クラウド/AI要件。 ²⁶
日本	Hiroshima AI Process と DFFT を軸に、信頼できるAIと国際協力を推進。 ²⁷	日本開催AIサミット構想、重要インフラ防護、trustworthy AIへの官民投資。 ⁸
Anthropic	透明・公平・技術的根拠に基づく政府介入は認めるが、現行措置は過剰と主張。 ²⁸	独立安全試験、厳格な連邦法、defense in depth、30日ログ保持。 ²⁸
OpenAI	ガバナンスは民主政府が担うべき。 ²¹	国際フォーラム、世界標準の試験・リスク分析・協力の場。 ²⁹

主体	基本姿勢	会合で確認・報道された提案/措置
Cohere	何らかの共同ガバナンス枠組みが必要。 ²⁹	「最も有能なAI」だけでなく「第二の有能なAI」も民主圏で作るべきという能力分散論。 ²⁹
欧州産業界	米モデル依存を脆弱性と見る。 ³⁰	欧州AI基金、主権クラウド、データ・サービスの欧州内統制。 ³⁰

技術リスクについては、政府・企業の認識はかなり収斂している。相違は「危険だから止めるか」「危険だから共同で評価しつつ使うか」にある。³¹

技術脅威	具体像	議論で示された主な緩和策
ガードレールの回避と jailbreak	Anthropic は狭い non-universal jailbreak と説明、米側は深刻な回避可能性を懸念。 ³²	事前レッドチーミング、ログ保持、監視、段階的公開、独立試験。 ²⁸
攻撃的サイバー能力の増幅	Mythos/Fable は脆弱性探索・攻撃補助に使えるとの懸念。 ³³	trusted partners 限定アクセス、AI cyber clearinghouse、G7サイバー専門家グループでの共有。 ³⁴
軍事・情報機関への転用	米商務長官は中国・ロシア等の軍情報利用リスクを指摘。 ³⁵	輸出規制、同盟国例外、アクセス監査、用途制限契約。 ³⁶
化学・生物・放射線など高危険領域支援	仏G7デジタル宣言が明示。 ¹³	高危険能力評価、モデル報告、Safety & Security Framework、提供制限。 ³⁷
合成コンテンツと社会的認知リスク	未成年者保護、出所表示、AI生成物の検知・標識化。 ³⁸	marking/labelling、年齢適合設計、メタ検知器、透明性義務。 ³⁹

規制・法的含意

米国では、6月2日の大統領令が「covered frontier model」概念、分類済みベンチマーク、最大30日の政府アクセス、trusted partners の早期アクセスを盛り込んでいた。他方で同令は、明示的に「開発・公表・配布の許認可制度を創設するものではない」とも書く。つまり、表向きは任意協力型である。しかしAnthropic 事件では、米商務省がECRA/EAR権限で外国籍者アクセス停止を命じたと報じられ、Lawfare は、法的権限は「表面的には plausibly legal」だが事実関係は不透明で、リモートAPI提供まで輸出とみなせるかは論争的だと整理する。これは任意枠組みと実力的行政介入の同時進行を意味し、米国法の予測可能性という観点では不安定である。⁴⁰

EUでは、AI Act のGPAI義務は2025年8月から適用済みで、欧州委の執行権限は2026年8月2日から本格化する。委員会ガイドラインは、最先端でシステムック・リスクを持つGPAIモデルの通知、重大インシデント報告、安全・セキュリティ文書の提出などを整理している。さらに6月3日の欧州委「技術主権パッケージ」は、クラウド・AI開発法、Chips Act 2.0、オープンソース戦略を通じ、センシティブ分野での主権性評価、欧州内データ・サービス制御、キルスイッチ回避を制度化しようとしている。エビアン後、この路線は一段と追い風を受ける可能性が高い。⁴¹

日本では、Hiroshima AI Process と DFFT が既存の国際ガバナンス資産であり、外務省は2026年5月時点で「安全・安心・信頼できるAI」外交を国家横断方針として再確認していた。高市首相はエビアンで、trustworthy AI への官民投資、日本でのAIサミット開催意向、重要インフラのサイバー防護を打ち出した。日

本にとっての含意は、AI産業育成だけでなく、**AISI的な評価能力、政府調達基準、同盟国アクセス枠組みへの参加資格、越境データ流通と安全保障審査の整合**を急ぐ必要があることだ。 42

グローバル供給網の観点では、今回の問題は「AIモデルそのもの」が供給網の要衝であり、しかも**遠隔で停止可能なサービス**であることを露呈した。Reutersは、EUが主権クラウド・AI・半導体強化法案を提案し、重要分野ではEU製ソフト/ハード統制を求める方向にあると報じた。Breakingviewsは、Anthropic事件が米国AI覇権の“kill-switch vulnerability”を露出させ、EU、英国、シンガポール、UAEなどの主権AI志向を後押しすると論じる。供給網の分散は、今後は半導体だけでなく、**モデルアクセス、推論クラウド、監査ログ、地域別データ、契約上の継続利用保証**まで含むようになる。 43

政治・市場・メディア反応

米国内では、政権内の国家安全保障優先姿勢と、議会・産業界の透明性要求がぶつかっている。Reutersは、商務省が6月15日時点で中国・ロシア等の軍情報機関への転用を懸念していたと報じた一方、APは100人超のサイバーセキュリティ幹部・専門家が規制撤回と「オープンで科学的で透明な」AIリスク評価を求めたと伝えた。さらにワシントン・ポストによれば、超党派の下院議員が商務長官に説明を要求している。6月19日にはトランプ自身がAnthropicを**もはや国家安全保障上の脅威と見ていない**と語っており、**政権方針は強硬だが固定化していない**。 44

フランスとEUでは、反応は明確に「**協調は必要だが、依存は危険**」という二層構造だった。マクロンは、民主主義国間の非協力を否定し、共通標準と協力プラットフォームを打ち出した。欧州委は、同盟国への差別的措置に反対しつつ、これが欧州の技術主権を強化すべき理由だと明言した。Reutersはさらに、Publicisのモーリス・レヴィが1000億ユーロ規模の汎欧州AI基金を提唱したと報じ、Le MondeもAI分野の「**non-coopération entre démocraties**」への警告を主要論点として扱った。**ブリュッセルとパリでは、アクセス例外交渉と主権強化が同時に進む**との見方が強い。 45

英国では、The Timesが、米国のAnthropic規制が英企業に衝撃を与え、レイチェル・リーブスやBT幹部らがAI主権の必要性を訴えていると報じた。要するにロンドンの論調は、米国と歩調を合わせたいが、**英国企業の運用レベルでは「いつでも止まるモデル」への依存は耐え難い**という現実的焦燥に近い。これは金融、通信、サイバー防衛などAI依存度の高い英産業の立場をよく映している。 46

日本では、政府側のメッセージは比較的一貫しており、Hiroshima AI Process、信頼できるAI、重要インフラ防護、日本開催AIサミットが軸だった。Sakana AIは公式Xで伊藤錬の招待を発信し、日本発フロンティアAI企業が同席したことを強調した。他方、日本メディアの政治面では、高市首相の外交パフォーマンスや「孤立」論争に注目が集まり、AI昼食会の政策実質は相対的に大きく報じられなかった。したがって国内政治への即効性は限定的だが、**政策実務ではむしろ外務・経産・デジタル・防衛・金融の連携強化を迫る会合**だったと評価すべきである。 47

時間軸別の影響は概ね次のように見込まれる。短期では、同盟国アクセス例外、暫定運用ルール、対米説明要求が進む。中期では、EUのGPAI執行開始、米国のtrusted partners運用具体化、G7サイバー情報共有、AI評価ネットワーク連携が進む。長期では、米国主導モデルを全面開放する秩序ではなく、**同盟圏アクセス・地域主権クラウド・共同試験・契約上の継続性保証**を組み合わせたハイブリッド秩序が形成される可能性が高い。 48

提言と主要ソース

政府向け提言は、次の五点に集約できる。

- **同盟国内例外アクセスの明文化。** trusted partner の資格、用途、監査、停止条件を非公開の電話協議ではなく文書化すべきである。 49
- **共同評価と相互承認。** AISI網、OECD、G7デジタル・サイバー専門家グループを接続し、フロンティアモデルの試験・報告・重大インシデント通知を共通化する。 50
- **防御用途優先のアクセス設計。** 重要インフラ防御、金融安定、脆弱性修復に限定した優先アクセス枠を整備する。 51
- **主権性と相互運用性の両立。** EU式の主権クラウド要求や日本のDFFTを、閉鎖主義ではなく監査可能な越境利用と接続する。 52
- **法的根拠の透明化。** 輸出管理、行政命令、事前評価の要件を公表し、恣意性と市場混乱を減らす。 53

企業向け提言は、次の四点が有効である。

- **defense in depth を前提にした公開戦略。** レッドチーム、ログ保持、利用監視、段階公開を標準化する。 15
- **マルチリージョン・マルチモデル依存分散。** 単一モデル・単一クラウドへの依存を減らし、継続性条項を契約化する。 54
- **用途別権限設計。** 攻撃寄り能力と防御寄り能力を同一アクセスにしない。信頼できるセクター別提供に切り分ける。 24
- **政府との事前エスカレーション経路整備。** 停止命令が出る前に、実証・再現・修正・限定解除までのプロセスを定義しておく。 55

なお、不確実性も残る。第一に、米商務省命令の原文全体と法的理由付けは公表されていない。第二に、AI昼食会の完全議事録や全発言録は見当たらない。第三に、Domyn と Salvum AI の代表者個人名、そして trusted partners 構想の制度設計詳細は、6月20日時点で未確認である。第四に、一部メディアでは Sarvam/ Salvum の表記揺れがあるため、参加者名簿の細部には注意が要る。 56

主要ソースは以下が中核となる。

- エリゼ宮「Sommet du G7 d'Évian : troisième jour」および閉幕記者会見。会合の形式、同席範囲、マクロンの協力プラットフォーム構想に関する一次資料。 57
- 日本外務省「G7 Evian Summit Working Lunch on “Ensuring Safe, Rapid, and Efficient AI Adoption”」。会合時間、参加企業一覧、日本政府の論点整理。 8
- G7成長宣言と未成年者向けデジタル空間声明。実際に文書化されたAI関連コミットメント。 58
- フランスG7デジタル・技術閣僚宣言。首脳会合の前提となる技術論点と実務成果。 13
- ホワイトハウス大統領令「Promoting Advanced Artificial Intelligence Innovation and Security」。covered frontier model、trusted partners、AI cyber clearinghouse の設計。 14
- Anthropic 公式声明「Statement on the US government directive to suspend access to Fable 5 and Mythos 5」。企業側の技術・法的立場。 15
- 欧州委員会 AI Act/GPAI ガイドライン、技術主権パッケージ。EU法執行・主権対応の制度枠組み。 59
- Reuters、AP、Lawfare の関連報道・分析。trusted partners 構想、EU反応、産業界・議会反応、法的論点の補完。 60

- 1 8 11 18 22 27 47 **G7 Evian Summit Working Lunch on "Ensuring Safe, Rapid, and Efficient AI Adoption" | Ministry of Foreign Affairs of Japan**
https://www.mofa.go.jp/ecm/epc/pageite_000001_00004.html
- 2 58 **Déclaration des chefs d'État et de gouvernement pour une croissance plus équilibrée, plus durable et plus résiliente. | G7 Évian 2026**
<https://www.elysee.fr/G7evian/2026/06/17/declaration-des-chefs-detat-et-de-gouvernement-pour-une-croissance-plus-equilibree-plus-durable-et-plus-resiliente>
- 3 17 49 60 **G7 leaders discuss 'trusted partners' access to cutting-edge US AI models, sources say | Reuters**
<https://www.reuters.com/legal/government/g7-leaders-discuss-trusted-partners-access-cutting-edge-us-ai-models-sources-say-2026-06-16/>
- 4 52 **Strengthening Europe's tech sovereignty - European Commission**
https://commission.europa.eu/news-and-media/news/strengthening-europes-tech-sovereignty-2026-06-03_en
- 5 6 **elysee.fr**
<https://www.elysee.fr/admin/upload/default/0001/20/a00a95ca6878d615115b4666fd071a933fe49053.pdf>
- 7 20 45 57 **Sommet du G7 d'Évian : troisième jour. | Élysée**
<https://www.elysee.fr/emmanuel-macron/2026/06/17/sommet-du-g7-devian-troisieme-jour>
- 9 10 29 **AI takes center stage at the G7 amid tensions over American tech dominance | AP News**
<https://apnews.com/article/7d783c6de4356962e338b8b8563d48ea>
- 12 14 24 34 40 51 **Promoting Advanced Artificial Intelligence Innovation and Security – The White House**
<https://www.whitehouse.gov/presidential-actions/2026/06/promoting-advanced-artificial-intelligence-innovation-and-security/>
- 13 37 50 **entreprises.gouv.fr**
<https://www.entreprises.gouv.fr/files/files/Actualites/2026/g7/declaration-ministerielle-g7-numerique-technologies.pdf>
- 15 28 31 32 55 56 **Statement on the US government directive to suspend access to Fable 5 and Mythos 5 | Anthropic**
<https://www.anthropic.com/news/fable-mythos-access>
- 16 **EU Commission looking at practical consequences of Anthropic decision, spokesperson says | Reuters**
<https://www.reuters.com/legal/litigation/eu-commission-looking-practical-consequences-anthropic-decision-spokesperson-2026-06-14/>
- 19 **Trump tells Axios he no longer views Anthropic as national security threat**
https://www.reuters.com/world/us/trump-tells-axios-he-no-longer-views-anthropic-national-security-threat-2026-06-19/?utm_source=chatgpt.com
- 21 **At G7, Macron says he expects progress on broadening access to Anthropic's Mythos | Reuters**
<https://www.reuters.com/legal/litigation/g7-leaders-vow-closer-ties-ai-they-hash-out-trusted-partners-scheme-2026-06-17/>
- 23 **G7 Leaders' Joint Statements - Evian, France, 16-17 June 2026**
https://www.consilium.europa.eu/en/press/press-releases/2026/06/17/g7-leaders-joint-statements-evian-france-16-17-june-2026/?utm_source=chatgpt.com
- 25 26 33 **In US, EU mutual interest for Europe to use best AI models, von der Leyen says | Reuters**
<https://www.reuters.com/world/us-eu-mutual-interest-europe-use-best-ai-models-von-der-leyen-says-2026-06-17/>

30 Publicis chief urges France, Germany to lead European AI fund

https://www.reuters.com/business/media-telecom/publicis-chief-urges-france-germany-lead-european-ai-fund-2026-06-17/?utm_source=chatgpt.com

35 36 44 US saw risk of Anthropic models being diverted to foreign military intelligence | Reuters

<https://www.reuters.com/technology/anthropic-us-officials-meeting-monday-resolve-dispute-over-export-curbs-2026-06-15/>

38 39 Appel des chefs d'État et de gouvernement pour un espace numérique plus sûr pour les mineurs. | G7 Évian 2026

<https://www.elysee.fr/G7evian/2026/06/17/appele-des-chefs-detat-et-de-gouvernement-pour-un-espace-numerique-plus-sur-pour-les-mineurs>

41 59 AI Act | Shaping Europe's digital future

<https://digital-strategy.ec.europa.eu/en/policies/regulatory-framework-ai>

42 AI Diplomacy | Ministry of Foreign Affairs of Japan

https://www.mofa.go.jp/ecm/eds/pagewe_000001_00361.html

43 54 EU targets Big Tech dependence with 'made-in-Europe' drive | Reuters

<https://www.reuters.com/business/eu-targets-big-tech-dependence-with-made-in-europe-drive-2026-06-03/>

46 Trump ban on exports of Anthropic's AI models alarms UK business

https://www.thetimes.com/business/companies-markets/article/trump-ban-anthropic-ai-exports-business-52jdvj522?utm_source=chatgpt.com

48 Guidelines for providers of general-purpose AI models | Shaping Europe's digital future

<https://digital-strategy.ec.europa.eu/en/policies/guidelines-gpai-providers>

53 A Kill Switch for Frontier AI | Lawfare

<https://www.lawfaremedia.org/article/a-kill-switch-for-frontier-ai>